

ホテルグランヴィア岡山のSDGsの取り組み

2022年5月更新

1.地球温暖化防止(省エネ)		SDGs該当項目			
省電力	ホテル館内照明のLED化推進(白熱照明 約13,000個の内、約9,000個実施済み) ※電球形LEDランプは、一般電球と比べると約85%の省エネ効果があるとされています。				
	宴会場、レストラン、従業員スペース未使用時の照明OFFの徹底、客室低稼働時のフロア単位での売り止め 客室のクローゼット・トイレに自動消灯装置を設置				
	館内空調温度の管理徹底(パブリックスペース:夏場24度、冬場22度/事務所内:夏場28度、冬場22度) 夏場に事務所内でクールビズを実施				
省資源	客室に節水型シャワーヘッド・トイレ、節水装置の設置(スイート、改装部屋等を除く計255室) 従業員スペースの水道蛇口に泡沫キャップや自動水栓を導入				
	お客様協力型の取り組みとして、「連泊時のリネン交換を行わない」ことを標準とし、 要望があった場合のみ交換を実施とすることで、節水及び洗剤、重油等の使用量を削減				
	事務書類の両面印刷、集約印刷の徹底 電子レジカードの導入や社内定例会議の完全ペーパーレス化				
2.循環型社会の構築		SDGs該当項目			
リサイクル	再利用可能なアメニティ(詰め替え式のディスペンサーボトル、ウォッシュャブルスリッパ)の導入				
	使い終わった食用油を飼料などにリサイクル(年間約4,000L)				
	古紙、ダンボール、ビン、缶、ペットボトル等の項目で分別を徹底しリサイクル率向上				
フードロス抑制	食事を伴う宴席ご利用者に「3010運動」をご案内し、フードロスを抑制 ※3010運動:「会食時に、最初の30分と最後の10分は料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょう。」という取り組み				
	タブレット端末によるオーダープッシュを導入し、お客様からのオーダー制による適量発注・適量調理で、フードロスを抑制				
	フードシェアリングサービス「TABETE」を導入し、お店で売れ残ってしまったケーキなどを近くの方にレスキュー(テイクアウト)していただくことでフードロスを抑制				
	ホテルから排出された食品廃棄物(年間約47t)をすべてバイオマス発電事業に提供しクリーンな電力発電に貢献、焼却処分(CO2排出)ゼロに ※微生物の力で食品廃棄物を分解・発酵し、発生したバイオガスを燃料に発電				
3.地域共生・社会貢献		SDGs該当項目			
地域共生	月2回の定期的なホテル周辺清掃に加え、岡山商工会議所主催「旭川一斉清掃」や岡山市環境局主催「百間川一斉清掃」などの地域清掃活動にも積極的に参加				
	岡山県主催「ライトダウンキャンペーン」へ参加し、キャンペーン期間中に館外ネオン等を消灯				
	「おかやま有機無農薬農産物」取扱店に2店舗(ブリードール・備彩)登録し、環境に配慮した食材を提供 地産地消費の積極採用、地元企業とのタイアップ				
社会貢献	お客様及び従業員が使用したペットボトルのキャップを分別して回収し、NPO法人へ提供(累計140,008個/2021年度末時点) 提供されたエコキャップは再生プラスチック原料として換金され、医療支援や子供たちへの環境教育など、様々な社会貢献活動に充当				
	コロナ影響による客足の低迷により発生した余剰食材をフードバンク岡山へ提供 提供された食料品は子ども食堂や障がい者就労支援施設などに寄付される				
	不用品(食器等)を「NPO法人 不用品の物品寄付で明るい社会を築く会」へ寄付 寄付品は換金されNPO団体や社会福祉団体へ寄付、物は国内・海外の必要とする団体へ寄付される				
	当社SDGs活動の発信、教育への活用 ・岡山市制作「岡山市内企業のSDGs取組」冊子への掲載 ・KSB制作「探究ナビ」(高校授業の「総合的な探求の時間」で活用)への掲載 等				
4.働きやすい職場づくり		SDGs該当項目			
社員教育・支援制度	・環境改善活動の指針として「環境宣言」を掲げ、カードを全社員が携帯 ・SDGs研修を全従業員に実施				
	・ダイバーシティ推進のため外国人、障がい者の雇用促進 ・ジェンダーに配慮した社内規程の見直し ・人権研修を全従業員に実施				
	子育て支援駅前保育園の誘致、スタッフの託児所補助金制度、短時間制社員制度の拡充				